

大会名 Competition	第39回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-107	Year Month Day Time 2026 年 5 月 4 日 10 : 45
場所 Place	NODENアリーナ(能代総合体育館)

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA	チームB
開志国際	駒大苫小牧
91	56
○	●
27 1st 18	
16 2nd 11	
27 3rd 11	
21 4th 16	
0 T	

主審:Crew chief
工藤 美香 秋田
副審:Umpire
紺野 真史 山形
齋藤 文弥 福島
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽高校 男子

No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	× 池田 楓真	cap	5	1	1	0	2	1	橋本 徠衣		-	-	-	0	0
5	× 高橋 歩路		26	4	7	0	0	2	小田 爽太郎		2	0	1	0	0
6	／ 大瀧 稜真		1	0	0	1	3	5	アディエモ ムハマト マウテ		27	2	10	1	2
7	／ 北村 拓己		0	0	0	0	0	13	本田 悠成		-	-	-	-	0
8	× 早野 剛		7	1	1	2	2	15	木戸 元柊		-	-	-	-	0
9	／ ジョーンズ 堅太		5	1	1	0	0	17	× 堀崎 裕矢		4	0	2	0	3
10	／ 佐藤 海音		2	0	1	0	0	19	高原 一馬		-	-	-	-	0
11	／ 佐藤 大征		0	0	0	0	1	22	／ 小山 マチ 佑紀		4	0	2	0	0
12	× 恒岡 ケイマン		21	0	10	1	0	25	× 垣内 雄士郎		0	0	0	0	0
13	／ イハツ ケツト ラックチネトウ		9	0	4	1	0	28	／ 伊藤 和心		0	0	0	0	0
14	× AJAK ALUONG AJAK ALUONG		0	0	0	0	2	31	／ 高橋 甘太郎		2	0	1	0	3
15	／ 小川 凜太郎		0	0	0	0	0	35	× 熊谷 海凜		3	0	1	1	2
16	／ 塩谷 空牙		5	1	1	0	5	52	土方 暖人		-	-	-	-	0
17	／ 岩朝 ローマ		5	1	1	0	1	55	× 袋井 想之介	cap	5	1	1	0	5
18	／ 堀内 遥		5	1	1	0	1	68	／ 高橋 和真		9	3	0	0	0
								72	葛西 夏輝		-	-	-	-	0
コーチ	富樫 英樹						0	コーチ	田島 範人						0
Aコーチ	津野 祐樹						0	Aコーチ	スティーン ジェームス祐樹						
合計			91	10	28	5	17	合計			56	6	18	2	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P射撃 2P:2P射撃 FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	26	28.57%	高橋 歩路
2	21	23.08%	恒岡 ケイマン
3	9	9.89%	イハツ ケツト ラックチネトウ

1	27	48.21%	アディエモ ムハマト マウテ
2	9	16.07%	高橋 和真
3	5	8.93%	袋井 想之介

Score ranking[Game]

1	27	アディエモ ムハマト マウテ	駒大苫小牧	2	26	高橋 歩路	開志国際	3	21	恒岡 ケイマン	開志国際
---	----	----------------	-------	---	----	-------	------	---	----	---------	------

1Q、両チームマンツーマンでスタート。お互い速いボール運びから3Pを狙うが不発。開志国際は素早く切り替えリングに近づき攻撃、#5高橋、#12恒岡が得点を重ねる。駒大苫小牧は#5アディエモ、#55袋井が3Pで反撃するもその後が続かない。開志国際は前に出るディフェンスでプレッシャーをかけ、相手のターンオーバーを誘発、ワンパス速攻や#12恒岡の3連続アタックで引き離し、27-18とする。

2Q、開志国際は#5高橋の3P、単独速攻で加点。駒大苫小牧は#5アディエモのダンク、#17堀崎のフローターで対抗。開志国際はタイトなディフェンスで駒大苫小牧にボールを回させない一方、オフェンスはパスが合わず伸び悩む。終盤、開志国際#16塩谷が3Pで差を広げ43-29で折り返し。

3Q、開志国際は#5高橋、#12恒岡を中心に速攻も交えた攻めを続ける。駒大苫小牧はきついディフェンスの合間を抜けて糸口を掴み始め、#68高橋の3P、#2小田のアタックが成功する。しかし開志国際はオフェンスを加速、#18堀内の3P、#13イハツのリバウンドシュートで得点する一方、駒大苫小牧を3分間無得点に抑え、70-40と突き放す。

4Q、開志国際はメンバーを入れ替えながらも激しいディフェンスを継続し、速い攻めを繰り返す。駒大苫小牧も果敢にドライブを仕掛け、#68高橋の3Pに繋げる。しかし差は縮まらず、91-56で開志国際が勝利した。